



**ソフトバンクグループ株式会社**

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

質疑応答

2021年2月8日

## 質疑応答

---

**質問者 1**：一つは SB Northstar の上場株投資について。長期の運用というお話ではあると思いますが、数千億円レベルでの実現損失だとかデリバティブの損失が出ています。テスト的な運用とおっしゃっていましたが、今後の方針について、今、どう考えていらっしゃるかお聞かせください。

もう一つが、ソフトバンク・ビジョン・ファンド（以下「SVF」）2 に関してです。SVF1 より組織もこなれたですとか、良い銘柄を探す仕組みもできたというお話がありましたが、具体的にどんな改善があったのか。また外部投資家が集まる見通しはあるのかどうか、ここについてお聞かせください。

**孫**：まず SB Northstar、GAFA を中心とした上場株への投資ですけれども、これはいまだにテスト運転をしている最中です。

12 月末の決算では、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）にとっては 1,000 億円ぐらいの赤字だったと思いますが、2 月の今日現在では 1,000 億弱の黒字になっています。ですから 1,000 億とか数千億の赤字だ、黒字だという点は、その日の株価によって若干のこぼこはあるだろうと。大きな損にも大きな益にも、今はなっていない。

今後どうするのかについては、あくまでもメインは、AI 革命の銘柄として大きい GAFA、既存のエース級の会社だと思いますが、伸びざかりで伸びの率が大きいのは、まさに SVF 銘柄。

われわれ、資金を 4.5 兆円プログラムで手元にしました。SVF は投資するのに若干時間がかかるので、バッファの間は運用として上場株で運用していたと。SVF の投資案件の銘柄が続々と増えてくれば、資金の使途として優先するのは SVF だと現時点では考えています。

次に、SVF のいろんな改善点です。今日現在までのところは、先ほど 2 兆円、3 兆円の利益が出ましたと報告しましたがけれども、私の目から見れば改善すべきだったと思える点だけでありまして、さまざまな反省をしている。さまざまに改善するテーマと内容が具体的に見えた。見えた状況ですから、今、改善の手立てをさらに続々と打っているということです。

ですから、たまたま利益が出たという状況ではなくて、継続して着実に利益が出ていくように、つまり卵を生み出す仕組みとリズムで、永続的に生まれていくような、そういう仕組みづくりが経営だと考えていますので、地域別と専門分野別の担当。例えばメディカルのところはメディカルの相当深い知識が必要なんですね。ですからそれは、そのチームが特化すると。フィンテックチームは

フィンテックに特化すると。AI ツールはそのチームで特化するというふうに専門特化していかないと、相手の会社の内容も分析できないし、理解できないことになりますので。

われわれ側もこれだけスケールを持つと、すでに数百人規模のファンドマネージャーと、そのスタッフがいるわけですが、そうするとさまざまな分業システム、専門家システム、評価システム、インセンティブシステムというものが仕組みとして今、できつつある。

私自身も直接、その陣頭指揮で、その仕組みづくりのところの改善を今、ばんばん打ち込んでいる状況です。われわれ、最初にボーダフォンジャパンを買収した直後は仕組みを徹底して変えなきゃいけない、つくらなきゃいけないというところだったので、僕自身かなり忙しく「詳細は社長に聞いてくれ」というぐらい、直接深く仕組みづくりに関わっておりましたけれども。現在、SVF では僕自身が相当詳しく、インセンティブのモデルづくりまで関わっている状況です。

**質問者 2**：現状の株価というか市況は非常に割高というか、結構、過熱気味とも言われているのですが、どうなのでしょう。安定的に、リズム良く生み出していくところで言うと、当然こういう市況が落ち込んだときに、どう立ち回るかというところがあるかと思うのですが。例えば今後の市況が落ち込んだときに、どのような対応をされるのか。この辺のお考えを教えてください。

**孫**：株式市況という、金利が上がると株価は下がると。失業率が増えるとその対策をするので、資金が市場に出回り逆に株価が上がるとか、いろんな政府の方針だとか Federal Reserve の方針とかで、株価が影響を受けたりするんですけども。私に言わせれば、それに対して投資をする方々は、投機をしているんだと思うんですね。

機を見て敏に株価が上がった、下がったというのを、金融政策などに対抗して、対処して行うのが、投機をしている方々の動きだと思うんですね。これが一つのパターン。

われわれはそういうものはあまり気にしないで、産業の構造転換、進化に対して、資本を提供するのが、われわれの役割だと。

ですから、もし自動車産業が生まれたばかりだということであれば、私は生まれたばかりの自動車産業に投資をする立場になっていたのだと思うんですね。あるいは電気もそうですけれども。

今、われわれは産業転換の入り口にある。つまり AI 革命は始まったばかりだと。2000 年のときにネットバブルが弾けて、みんな大損をして大変な苦しみがありましたけれども。あれはバブルが弾けたというけれども、あのときは実はピークではなかったのは、今、歴史を振り返ってみれば分かります。あのときの株価よりも、今ははるかに大きくネットカンパニーの企業価値は増えています。

同じように AI の会社が一時的に過熱して、そして一時的に下がっても、それは生まれたばかりの知恵熱みたいなものが時々、出たり引っ込んだりしますけれども、大事なのは構造的に AI 革命が始まったばかりで、ちょうどインターネット革命の始まったばかりと同じですから、少々でこぼこは下がったらチャンス。上がってもまだそこはピークではないというのが、僕の見方です。ですから思いはぶらさずに、着実に卵を増やしていくのが私どもの役割だと見ています。

**質問者 3：**冒頭、発言のあったアリババ関連ですけれども。保有株の価値の中では依然半分以上を占めるような、重要な存在かと思えます。

ただ、傘下のアントグループの上場延期などがあり、中国の政策変更に振り回される可能性が、今後もあるのではないかという点が気になるので、その辺りをどうお考えか。他の中国の企業にも数多く投資されていますので、この点を教えてください。

もう一つ、ジャック・マー氏は 10 月以降、公の場から姿を消している状況ですけれども、この間、直接連絡を取るようなことがあったでしょうか。あったとしたら、どのようなお話をされたのでしょうか。

**孫：**中国のアリババだとかアントだとか、テンセントその他も今、ネット業界に対する、おそらくある意味、初めてかもしれないというぐらい、大きな政策の議論が行われておりますけれども、考えてみると、アメリカ、ヨーロッパ、日本もそうですけれども、もうかなり前から、100 年ぐらい近く前から独禁法という法律があって、さまざまにルールがはめられて、規制されている。

金融業界も銀行法だとか証券に対する法律だとか、さまざまな法律、規制があって、その規制の枠組みの中で健全な事業を行っている。それは、いろんな事故だとか事件から学んで、そういう規制のルールができてきたと。

同じように中国は、今まではインターネット企業に対して、ほぼ自由に、やりたい放題やっていいという感じだったのですが、今、欧米と同じように独禁法に対してはちゃんと弱いものをいじめちゃいけないとか、スタートアップの会社にフェアに扱わなきゃいけないとか。

あるいは、人から預かった預金に近いような金融商品は、預かった金が急になかったらこれは多くの人に迷惑をかけるので、やはり金融規制というものは人々を守るためにある程度、常識の範囲をつくっていかなくちゃいけない。

おそらく中国は今、そういう状況に入ったのだと思いますが、これは健全に大きくなっていくためには必要な規制の部分がほとんどじゃないかと思えます。

ですから今、語られている内容は、欧米でも行われている常識的な範囲を決して大きく超えたものではないと、私は理解しています。これからの中国の健全なインターネットだとか AI の発展には、むしろ長期的にはプラスだと見ています。

2 番目の質問の、ジャック・マーとの個人的なやりとりですけれども、彼は絵が好きなんですね。絵を描いているんです。「マサ、今度俺はこんな絵を描いたよ」と言って、いろいろ彼が今、製作中の絵を僕に送ってきています。

僕も実は個人的には絵が好きで、寝る前に 30 分ぐらい時々絵を描いたりして。まだ彼には僕の描いている途中の絵は見せていないんですけれども、完成したら見せようと思って。お互いにそういうビジネスの生々しい話というよりは、個人的な趣味の話だとか、元気かというような話のやり取りをしている状況です。

**質問者 4：**ガチョウがリズム感を持って卵を生むという話でしたが、今年のリズム感についてお伺いしたいです。例えば上場のリズム感、ひと月に何社ぐらいが上場できそうか教えてください。

もう一つは、今やらないといけない、今の時期やらないといけない、一番の思いを伺いたいです。収穫の時期と言っていましたが、SVF2 とか太陽光発電とか、いろんなほかのプロジェクトもソフトバンク、孫さんは以前からやっているのですが、今これをやらないといけないというのは何ですか。

**孫：**リズム感としては、年間で 10 社とか 20 社とかいう規模で、上場が毎年生まれていくリズム感で、これからやっていきたいなと、またできるのではないかなと考えています。

SVF1 の収穫期が今、まさにこれからゴールドラッシュのような形で出てくると思いますが、SVF2 にも今、どんどん仕込みで入っていますけれども、一部すでに早いものは収穫になりつつあると。

160 社お腹の中に入ったわけですから、10 社とか 20 社とかいうのが毎年出てもおかしくない。というのは、われわれはアーリーステージの会社に投資しているわけじゃないんですね。同じベンチャーキャピタルでも、全てレイトステージのものに投資していますので、上場に至る確率は、一般的なベンチャーキャピタルよりは比率は大きいと。

その代わりに、一般的なベンチャーキャピタルは、1 が 100 とか 1,000 になるものが時々ある。多くの失敗もあるけれども、1 が 100 とか 1,000 になるもの。SVF の場合は 100 とか 1,000 倍にはあまりならないけれども、10 倍ぐらいになるものはいくつか出ますでしょう。その代わりに、入れて

いるわれわれの元本の資金も大きいので、それなりのリターンを得られるだろうと思っているわけです。

ですからリズム感ということでは、そういう年間 10 社、20 社というのが、これから始まるんだろうなと思います。

今一番やりたいことは、AI 革命だけということです。われわれが太陽光発電とかをやり始めたのは 10 年前、東日本大震災があったときに、問題解決として、人々に貢献したいということで太陽光発電などを始めたわけですけれども。いまや、われわれがやらなくても、世界中、多くの会社がやる状況になりました。

われわれのつくった規模は、世界でも 1 位、2 位を争うぐらいの規模にまでなりました。ですから、ある程度達成しましたし、利益も出てきたし、それを継続して大きくしたいという方々に売却する方向で今、交渉しているということです。

全部売却か、一部残して継続支援するかは別ですけれども、われわれはもう AI 革命一本に絞りたい。いろんなことをやれるほど能力はないので、集中的に AI 革命に僕の人生、今、捧げている状況です。

**質問者 5：** イギリスと EU の当局が、エヌビディアによるアームの買収が競争法に抵触しないか、本格的な調査を始めたと思います。いろいろ反対の声もライバル社などから出ているようですが、ブロックされるリスクについて今はどうお考えで、もしブロックされた場合に、どのようなオプションを考えられているのかという点。

もう 1 点は、先ほどアリババの件でコメントされたかと思いますが、金融規制について、中国が健全に大きくなるためには必要な規制の部分だと思っておっしゃられたと思うのですが、あれだけ慎重なジャック・マー氏がなぜ、あの中国の当局を批判されたとお考えなのか。なかなかコメントしづらいと思うのですが、お考えをお聞きできればと思います。

**孫：** イギリスだとか EU だけではなくて、米国でもそうですし、さまざまな国でアームの売却、その承認については各国の政府で今、承認についてのプロセスが始まっていると。もちろん始まらないとわれわれも困るわけですけれども、最終的に承認は下りると私は信じています。

当然、いろんなこういう大きな案件のときには、賛成する方と反対する方が常にいるわけですけれども、基本的にアームのライセンスは従来どおり、広く多くの会社に提供していく基本方針には変わりはない。

それからアームの現在の事業領域とエヌビディアの事業領域は、ほぼ重なっていないということで、独禁法が気にする業界のコンセントレーション、集中度合いが深まるわけではない。

この2点で、最終的に私は承認は下りると信じています。ですからそれに対するプランBは考えていませんが、もともとアームは今、最高の売上を出していますし、順調に利益が出始めていますので、独自IPOしてということをもともと考えていたわけですけれども。現在はエヌビディアとの合意ができたし、承認が下りると信じていますので、そこに集中しているということです。

それからアリババのジャック・マーの件については、詳しい内容は僕もメディアで読む程度しか分かりませんので、軽々としたコメントは避けたいと思います。

**質問者6:** 現状160社ということですが、大体どれぐらいの割合の会社が金の卵になっていくとお考えかをお伺いしたい。以前、決算発表で崖から落ちていくユニコーンと羽ばたいていくユニコーンとそれぞれありますというお話があったので、全ての会社が金の卵になるわけではないと思うんですけれども。そのイメージを教えてください。

もう一つは、19年からウィークアウトですとかオヨですとか、成長をかなり急いで経営改善、リストラが必要になった会社も何社かあったと思いますけれども、こうした会社の今の経営改善は、どんなイメージで進んでいらっしゃるのか。こうした会社がまたIPOを再び目指す状況になるのか、その見通しについて教えてください。

**孫:** 一般的なベンチャーキャピタルが上場、または買収によってエグジットする割合が大体3割ぐらいだと言われています。彼らはアーリーステージのものに投資するのがほとんどですから、アーリーステージのもので3割ぐらいが、いわゆる金の卵になっていくとするならば、レイトステージに特化しているわれわれは、それよりは確率が良いと。どのぐらい良いかはもう少し、やってみないと分かりませんが、少なくともわれわれの元本に対しての何倍かの利益にはなっていくと手応えを感じている状況です。

次のウィークアウトだとか、他いくつか質問ありましたけれども。たまたまこのコロナの状況で、人がオフラインで出かけて行って、オフィスに行くだとか、その他というのは一番今、ロックダウンで出かけちゃいけない、オフィスにも来ちゃいけない状況ですから、一番打撃を受けているところではあります。

しかし一方、この間コストダウンとか経営効率、技術革新を相当進めている状況のようですから、損益分岐点はかなり良くなっていると。どれだけ売上がいけば利益が出るというのが、かなり改善されたので、経営効率が良くなっている。

あとはワクチンさえ行き渡って人々の交流が増えれば、外出できる部分が増えれば、かなり利益が出るようになるのではないかと、そういう手応えを感じているということです。

**質問者 6：**ウィーワークなどの企業価値も、今は上昇に転じているということなのでしょうか。

**孫：**いったん下がって、下がったところから上がってき始めている。SPAC だとか、いろんな提案も今、き始めている。一番下がったところからは、少なくとも今、リバウンドして上がり始めている状況だと認識しています。

**質問者 7：**金の卵の話について、もうちょっと聞きたいのですが、この製造ラインはいつ頃、何年頃ぐらいに完成するのでしょうか。

先の質問で、毎年 10 から 20 社規模で生まれるのが理想とおっしゃっていましたがけれども、これはその製造ラインが完成した場合の話という理解でよろしいのでしょうか。

**孫：**本当の意味での完成は、永遠にないと思うんですね。やっぱりどんどん改善、改善、改善します。少なくとも先ほどのプレゼンにありましたように、今年すでに 11 社、金の卵として上場する状況にまでなりましたので、年間 10 社、20 社出るのはそれなりのペースがもうできてきたと。ここからさらなる改善を毎日行っていくということだと考えています。

**質問者 8：**ソフトバンク株式会社（以下「SBKK」）のソフトバンクグループにおける位置づけについて、もう少しコメントを頂戴したいんですけども。

先ほどのプレゼンの中で、SVF の有望な投資先の事業を、20~30 社ぐらいは日本に持ってこられるんじゃないかという趣旨のご説明をされたように思います。そういう事業を日本に根付かせるのが、SBKK の今後の主な任務になるのでしょうか。

併せて、4 月 1 日付で経営体制が変わるんですけども、宮川さんへの期待であるとか、孫さんは今後、SBKK にはどういうかたちでかかわっていかれるのかをお聞かせください。

**孫：**SBKK、私の創業以来の仲間が、ほとんどそちらの会社にいるわけです。ですから、これは私の魂の根源でもありますので、ぜひ創業者として大切にしていきたい。

宮内は、創業して 2~3 年目ぐらいからずっと一緒にいますので、もう 40 年近いパートナーですし、宮川君も 20 年近くもう一緒に、ヤフー BB のときから苦労して戦ってきた同志だと、志を共にしている仲間だと思っています。

ですから、上下関係というよりは志を共にする仲間として、僕が若干兄貴分かもしれないけれども、お互いに今でも、今度はこんなふうにしよう、あんなふうにしようという意見交換をしょっち

ゆうやっておりますし、明日もまた集まりがあって、ペイペイの今後についてどうするという議論も行う予定です。

これからも深く、そういうきらきら輝くようなプロジェクトと一緒にいくつも、いくつもやっていく仲間だと考えています。

ですから宮川君を中心に、これから新社長としてSBKKがどんどん大きくなっていくように、そして単なる通信会社として料金問題だけに終わらないような、もちろんネットワークは5G、6Gとさらに進化すべきだし、その上に乗る様々なデジタル革命、AI革命を進めてくれる。そういう立派な新キャプテンだと考えています。

もちろん、それを支えるメンバーとして、榛葉君だとか今井君だとか、藤原君だとか青野君だとかエリック・ガンだとか、いろんな錚々たるメンバーがいますので、彼らがどんどんこれから力を合わせて、Beyond Carrierという部分を大きく広げてくれると信じています。

**質問者9**：ちょうど去年の2月の会見にも出させていただきまして、大分景色が変わったのではないかなという印象を持っています。

去年の2月にした質問は、SBGの非上場化について、選択肢としてどのように思われますかという質問をしました。そのとき孫社長は、選択肢としてはあると。去年、これまで相当悩んで非上場化しようと思った時期もあって、真剣に悩んだと。ただいろいろメリット、デメリットを考えると、説明責任だったり公正な情報開示だったり、借入先への説明だったり、透明性を確保する上で上場のメリットを感じていると締めくくられました。

その後、市場のほうでも上場を維持するのか、それとも非上場化するのかという話が、たくさん会話されるようになってきました。その質問に対しても、前回の会見ではコメントを控えますとおっしゃったと思うのですが、この1年弱の間にどうしてノーコメントと変わってきたのか。そして現状、非上場化、上場することの考え方はどのように日々思われていらっしゃるのか。

直近の現状について、大きな巨艦のキャプテンとして、たくさんのステークホルダーに説明していただけると幸いです。

**孫**：ノーコメントです。以上です。ありがとうございました。よろしく申し上げます。

## IMPORTANT INFORMATION

### Disclaimers

This presentation provides relevant information about SoftBank Group Corp. (“SBG”) and its subsidiaries (together with SBG, the “Company”) and its affiliates (together with the Company, the “Group”) and does not constitute or form any solicitation of investment including any offer to buy or subscribe for any securities in any jurisdiction.

This presentation contains forward-looking statements, beliefs or opinions regarding the Group, such as statements about the Group’s future business, future position and results of operations, including estimates, forecasts, targets and plans for the Group. Without limitation, forward-looking statements often include the words such as “targets”, “plans”, “believes”, “hopes”, “continues”, “expects”, “aims”, “intends”, “will”, “may”, “should”, “would”, “could” “anticipates”, “estimates”, “projects” or words or terms of similar substance or the negative thereof. Any forward-looking statements in this presentation are based on the current assumptions and beliefs of the Group in light of the information currently available to it as of the date hereof. Such forward-looking statements do not represent any guarantee by any member of the Group or its management of future performance and involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, including but not limited to: the success of the Group’s business model; the Group’s ability to procure funding and the effect of its funding arrangements; key person risks relating to the management team of SBG; risks relating to and affecting the Group’s investment activities; risks relating to SB Fund (defined as below), its investments, investors and investees; risks relating to SoftBank Corp. and the success of its business; risks relating to law, regulation and regulatory regimes; risks relating to intellectual property; litigation; and other factors, any of which may cause the Group’s actual results, performance, achievements or financial position to be materially different from any future results, performance, achievements or financial position expressed or implied by such forward-looking statements. For more information on these and other factors which may affect the Group’s results, performance, achievements, or financial position, see “Risk Factors” on SBG’s website at [https://group.softbank/en/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/en/ir/investors/management_policy/risk_factor). None of the Group nor its management gives any assurances that the expectations expressed in

these forward-looking statements will turn out to be correct, and actual results, performance, achievements or financial position could materially differ from expectations. Persons viewing this presentation should not place undue reliance on forward looking statements. The Company undertakes no obligation to update any of the forward-looking statements contained in this presentation or any other forward-looking statements the Company may make. Past performance is not an indicator of future results and the results of the Group in this presentation may not be indicative of, and are not an estimate, forecast or projection of the Group's future results.

The Company does not guarantee the accuracy or completeness of information in this presentation regarding companies (including, but not limited to, those in which SB Funds have invested) other than the Group which has been quoted from public and other sources.

#### Regarding Trademarks

Names of companies, products and services that appear in this presentation are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

#### Important Notice – Trading of SBG Common Stock, Disclaimer Regarding Unsponsored American Depository Receipts.

SBG encourages anyone interested in buying or selling its common stock to do so on the Tokyo Stock Exchange, which is where its common stock is listed and primarily trades. SBG's disclosures are not intended to facilitate trades in, and should not be relied on for decisions to trade, unsponsored American Depository Receipts ("ADRs").

SBG has not and does not participate in, support, encourage, or otherwise consent to the creation of any unsponsored ADR programs or the issuance or trading of any ADRs issued thereunder in respect of its common stock. SBG does not represent to any ADR holder, bank or depository institution, nor should any such person or entity form the belief, that (i) SBG has any reporting obligations within the meaning of the U.S. Securities Exchange Act of 1934 ("Exchange Act") or (ii) SBG's website will contain on

an ongoing basis all information necessary for SBG to maintain an exemption from registering its common stock under the Exchange Act pursuant to Rule 12g3-2(b) thereunder.

To the maximum extent permitted by applicable law, SBG and the Group disclaim any responsibility or liability to ADR holders, banks, depository institutions, or any other entities or individuals in connection with any unsponsored ADRs representing its common stock.

The above disclaimers apply with equal force to the securities of any of the Group which are or may in the future be the subject of unsponsored ADR programs, such as SoftBank Corp. or Z Holdings Corporation.

#### Notice regarding Fund Information contained in this Presentation

This presentation is furnished to you for informational purposes and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in any fund managed by a subsidiary of SBG, including SB Investment Advisers (UK) Ltd. (“SBIA”), SBLA Advisers Corp. (“SBLA”) and any of their respective affiliates (collectively, the “SB Fund Managers” and each an “SB Fund Manager”) (such funds together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle collectively, the “SB Funds” and each an “SB Fund”). For the avoidance of doubt, the SB Funds include, among other funds, SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF1”), and SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund II” or “SVF2”), which are managed by SBIA and its affiliates, SoftBank Latin America Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “SoftBank Latin America Fund” or “LatAm Fund”), which is managed by SBLA and its affiliates.

None of the SB Funds (including the Vision Fund I, Vision Fund II and SoftBank Latin America Fund), the SB Fund Managers (including SBIA and SBLA), any successor or future fund managed by a SB Fund Manager, SBG or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation, or future performance of any successor or the future fund managed by a SB Fund Manager.

Information relating to the performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the relevant SB Fund, any other entity referenced in this presentation or any future fund managed by an SB Fund Manager. References to any specific investments of an SB Fund, to the extent included therein, are presented to illustrate the relevant SB Fund Manager's investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments of an SB Fund may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described in this presentation do not represent all of the investments made by the relevant SB Fund Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed therein were or will be profitable.

The performance of an SB Fund in this presentation is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the relevant SB Fund Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated in this presentation or used to calculate the returns contained therein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations.

Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the relevant SB Fund's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the relevant SB Fund Manager's valuations are based.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of an SB Fund or any future fund managed by an SB Fund Manager may be materially lower than the performance information presented in this presentation. There can be no assurance that each SB Fund or any future fund managed by the relevant SB Fund Manager will achieve comparable results as those presented therein.

The actual realized return on unrealized investments by an SB Fund may differ materially from the performance information indicated in this presentation. No assumption should be made that investments identified and discussed in this presentation were or will be profitable, or that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described therein.

Third-party logos and vendor information included in this presentation are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that an SB Fund Manager, an SB Fund's portfolio companies, any future portfolio companies of a future fund managed by an SB Fund Manager or SBG will work with any of the firms or businesses whose logos are included in this presentation in the future.

SBIA and SBLA manage separate and independent operations and processes from each other and those of SBG and any SB Funds managed by SBIA or SBLA are solely managed by SBIA or SBLA respectively.

## **免責事項**

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下 SBG と併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連

情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」

([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor))をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当

社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SB ファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBG の普通株式の取引、スポンサーなし ADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBG の普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBG の開示は、スポンサーなし ADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADR の取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBG は、SBG の普通株式に関するスポンサーなし ADR プログラムの設立又はそれに基づき発行される ADR の発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBG は、ADR 保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBG が 1934 年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBG のホームページに、SBG が証券取引所法ルール 12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づく SBG の普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG 及び当社グループは、SBG の普通株式を表象するスポンサーなし ADR に関連して、ADR 保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社や Z ホールディングス株式会社などの、スポンサーなし ADR プログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又は SB Investment Advisers (UK) Limited (以下「SBIA」)、SBLA Advisers Corp. (以下「SBLA」)及びそれらの関係会社を含む SBG の子会社 (以下併せて「SB ファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド (文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SB ファンド」) のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SB ファンドは、他のファンド同様、それぞれ SBIA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」) と SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」) を含み、また、SBLA とその関係会社によって運用されている SoftBank Latin America Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」) を含みます。

SB ファンド (ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SB ファンド運用会社 (SBIA を含む)、SB ファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG 又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報は SB ファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又は SB ファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SB ファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連する SB ファンド、本資料に言及されるそ

他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SB ファンド運用会社、SB ファンドのポートフォリオ会社、SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又は SBG が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA 及び SBLA は、SBG からそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 を含む SBIA によって運営されている SB ファンドは SBIA 単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドは SBLA 単独で運営されています。